

オリエンテーションと化粧品概論

K07
オンライン

K08
会場型

本講座は、化粧品を学びたい人にとって手引きとなる啓蒙書として刊行した「化粧品科学へのいざない」(薬事日報)をもとに、化粧品に関わる科学技術を俯瞰しつつ、化粧品の生活や文化との関わり(QOL)の側面も含めた化粧品の概要を解説します。



全1回・4月16日(土) 13:00~14:30 受講料:3,500円 定員:オンライン50名/会場20名

講師 坂本 一民 東京理科大学 理工学部 先端化学科 客員教授/理学博士

化粧品の科学技術史

日本処方のルーツを辿る

K11
オンライン

K12
会場型

本講座では、日本における近代化粧品の歴史の変遷を具体的な事例を交え紹介し、新しい化粧品技術がどのような経緯で生まれるかを紐解きます。ヒット商品が生まれる必然性と偶然性を知るとともに、日本の化粧品処方の強みを考えます。



全1回・5月14日(土) 13:00~14:30 受講料:3,500円 定員:オンライン50名/会場20名

講師 南野 美紀 株式会社ベルヴィース 取締役 副社長/JCCエグゼクティブアドバイザー 医学博士/薬学博士/経営学修士

化粧品の成り立ち

K15
オンライン

K16
会場型

市場に溢れている様々な特徴ある化粧品は、多くの場合、水や油や粉状の原料など、お互いに混ざらない、なじまないものを原料に、工夫して作られています。本講座では、化粧品製剤の成り立ちと機能を発揮させるための仕組み、素材の使い方について解説します。



全1回・6月25日(土) 13:00~14:30 受講料:3,500円 定員:オンライン50名/会場20名

講師 鈴木 敏幸 東京理科大学 理工学部 先端化学科 客員教授/工学博士

化粧品の原料

K19
オンライン

K20
会場型

化粧品の原料名を見ただけでは、どのような物質であるか理解することは簡単ではないと思います。本講座では化粧品に用いられる原料の理解を助けるため、いくつかのグループに分けて解説します。



全1回・7月16日(土) 13:00~14:30 受講料:3,500円 定員:オンライン50名/会場20名

講師 早瀬 基 花王株式会社 研究開発部門 上席主任研究員

化粧品と皮膚 美と健康は表裏一体

K23
オンライン

K24
会場型

健康な肌の構造や機能を解説し、紫外線、ライフスタイル、食生活、および心と体の健康がどう肌に関係するか、加齢でどう変化するかを説明します。肌の健康(美)を目指すことが結果的に健康長寿の実現にもつながるというお話です。



全1回・8月6日(土) 13:00~14:30 受講料:3,500円 定員:オンライン50名/会場20名

講師 井上 紳太郎 岐阜薬科大学 化粧品健康学講座 特任教授/博士(薬学)

化粧品と皮膚科学的応用

K27
オンライン

K28
会場型

本講座では、保湿効果の高いスキンケア製品、紫外線から皮膚を守るサンスクリーン剤、皮膚病変部位を覆い隠すメイクアップ製品など、皮膚疾患患者の生活の質(Quality of life: QOL)の向上に有用な化粧品の活用について解説します。



全1回・9月3日(土) 13:00~14:30 受講料:3,500円 定員:オンライン50名/会場20名

講師 中田 土起丈 昭和大学藤が丘病院 皮膚科 診療科長 教授

化粧品とビジネスアライアンス

K09
オンライン

K10
会場型

本講座では化粧品業界の特性を理解しつつ、同業や異業種とどのようにアライアンスを組むことにより自社の弱みを補い強みを更に強化するか、その基本的な考え方と実例を解説します。



全1回・4月23日(土) 13:00~14:30 受講料:3,500円 定員:オンライン50名/会場20名

講師 神田 不二宏 武庫川女子大学 薬学部 客員教授/JCCエグゼクティブアドバイザー/工学博士

化粧品をめぐる心理学

K13
オンライン

K14
会場型

本講座は化粧の歴史を、生物の進化という巨視的な視点、西洋対日本という比較文化的視点、明治維新以降の日本という近代史的視点など、レンズの拡大率を変えながら振り返ります。さらに、スキンケアとメイクの区別、油と水、衛生観、公と私、慈しむ化粧と飾る化粧、スキンケア・メーカー・フレグランスの心理効果など総合的に解説します。



全1回・5月21日(土) 13:00~14:30 受講料:3,500円 定員:オンライン50名/会場20名

講師 阿部 恒之 東北大学大学院 文学研究科 教授/博士(文学)

化粧品の基礎界面化学

K17
オンライン

K18
会場型

化粧品は、固体/液体、液体/液体、液体/気体などの各種界面の制御技術により作られており、また使用後は、肌や毛髪などの界面との相互作用により機能を発現します。本講座では、化粧品技術の中核をなす界面化学について平易に解説します。



全1回・7月9日(土) 13:00~14:30 受講料:3,500円 定員:オンライン50名/会場20名

講師 酒井 秀樹 東京理科大学 理工学部 先端化学科 教授/博士(工学)

化粧品の乳化・可溶化

K21
オンライン

K22
会場型

乳化・可溶化とは化粧品の製品開発の基盤技術であり、互いになじまない水と油を均一に分散する技術です。本講座では乳化・可溶化の基礎をふまえた化粧品処方の設計方法を分かり易く説明します。



全1回・7月23日(土) 13:00~14:30 受講料:3,500円 定員:オンライン50名/会場20名

講師 山下 裕司 千葉科学大学 薬学部 薬学科 准教授/Doctor of Natural Science

化粧品の評価

K25
オンライン

K26
会場型

化粧品の目的は、健やかな皮膚の維持と美しく整えることにあります。また、継続して使用する上で、心地よい使用感が求められます。スキンケアやメイクアップ化粧品の評価には気を付けるポイントがありますので、製品ごとの特長や違いを可視化した実例をあげ分かりやすく説明します。



全1回・8月27日(土) 13:00~14:30 受講料:3,500円 定員:オンライン50名/会場20名

講師 菅沼 薫 日本顔学会 会長

化粧品の安全性とその評価法

K29
オンライン

K30
会場型

化粧品は、ヒトの健康に危害を与えないことを示すために設計された予知的安全性評価に支えられ、重篤な健康被害をもたらすことは滅多にない安全なものと考えられています。本講座では、多くの人たちが一生のうちの長期間にわたって使用する化粧品の開発における、化粧品の安全を立証するための考え方と評価法について解説します。



全1回・9月10日(土) 13:00~14:30 受講料:3,500円 定員:オンライン50名/会場20名

講師 小島 肇 国立医薬品食品衛生研究所 主任研究官